

製品名: PPAR ガンマ (19L6) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16408**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:100-1:200, FC 1:200-1:1000
分子量	58kDa

抗原情報

遺伝子名	PPARG C1MT1; GLM1; NR1C3; Nuclear receptor subfamily 1 group C member 3; Peroxisome proliferator activated nuclear receptor gamma variant 1; Peroxisome proliferator activated receptor gamma 1; Peroxisome Proliferator Activated Receptor gamma; PPAR gamma; PPARG; PPARG1; PPARG2; PPARgamma;
別名	
遺伝子 ID	5468.0
SwissProt ID	P37231

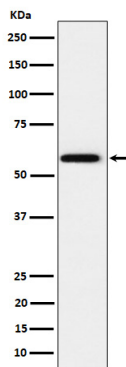
背景

ペルオキシソーム増殖因子（脂質低下薬や脂肪酸など）に結合する受容体。リガンドによって活性化されると、この受容体はアシル CoA 酸化酵素遺伝子のプロモーターエレメントに結合し、その転写を活性化する。したがって、脂肪酸のペルオキシソーム β 酸化経路を制御する。脂肪細胞の分化とグルコース恒常性の重要な制御因子である。ペルオキシソーム増殖因子（脂質低下薬や脂肪酸など）に結合する核内受容体。リガンドによって活性化されると、この受容体は DNA 特異的 PPAR 応答エレメント (PPRE) に結合し、アシル CoA 酸化酵素などの標的遺伝子の転写を調節する。したがって、脂肪酸のペルオキシソーム β 酸化経路を制御する。脂肪細胞の分化とグルコース恒常性の重要な制御因子である。ARF6 は、組織特異的脂肪細胞 P2 (aP2) エンハンサーの重要な制御因子として働く。NF- κ B を介した炎症誘発反応を抑制することで、腸管恒常性の重要な調節因子として作用する。血管における ARNTL/BMAL1 の転写を制御することで、心血管概日リズムの調節にも関与する（類似性による）。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の PPAR ガンマ発現のウェスタン ブロット分析。